

情報公開文書

京都大学医学部附属病院呼吸器内科に持続陽圧呼吸 (CPAP) 療法管理目的で
通院している患者さんへ

当院では、以下の医学研究を京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しております。この研究は通常の診療で得られる記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関する問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

「研究課題名」： 持続陽圧呼吸療法装置の機種変更による影響に関する検討

「主たる研究機関」：京都大学医学部附属病院

「研究実施責任者」：佐藤晋 (呼吸管理睡眠制御学講座、特定准教授)

「個人情報管理責任者」：濱田哲 (呼吸不全先進医療講座、特定助教)

「研究の目的」： 持続陽圧呼吸 (CPAP) 療法装置の機種変更による影響を検討すること。

「研究の方法」

・対象：2021年7月から2022年1月までの間にPhilips社製 (DreasStation) からResMed社製のCPAP療法装置 (AirSence™10 RespondまたはSleepmate 10 Auto) に変更された患者さん。

・利用する情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、治療薬、診断終夜ポリソムノグラフィ検査結果、CPAPカードデータなど。

「研究実施期間」：研究機関の長の実施許可日から2年間

「研究資金・利益相反」：本研究は呼吸管理睡眠制御学講座の研究費 (寄附金) により実施します。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会に置いて適切に審査しています。

「個人情報の取り扱い」：成果の公表に関しては、個人情報保護法に基づいて対象患者の名前や住所などプライバシーにかかわる事項や個人を特定できるような試験結果は一切公表しません。結果の解析時には、患者さんの名前は使用されず、番号、医療機関名にて管理されますので個人情報は保護されます。

※ 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。なおその場合においても患者さんが診療上不利益をこうむることは一切ありません。

「問い合わせ先」

1) 研究課題ごとの相談窓口：京都大学大学院医学研究科呼吸管理睡眠制御学講座

問い合わせ先：佐藤晋、濱田哲

〒606-8397 京都府京都市左京区聖護院川原町54

電話 075-751-3852 FAX 075-751-3854

2) 京都大学の相談窓口：京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

電話 075-751-4748 E-mail ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp